



# 時 計 用 語

Horological vocabulary

2024 年 10 月

一般社団法人日本時計協会

JAPAN CLOCK & WATCH ASSOCIATION

## 目 次

1. 目的	2
2. 引用規格及び規約、関連規格	2
3. 用語と定義	3
3. 1 一般用語	3
3. 2 時計の種類に関する用語	5
3. 3 性能に関する用語	8
3. 3. 1 精度	8
3. 3. 2 防水性能	9
3. 3. 3 耐磁性能	10
3. 3. 4 耐衝撃性能	10
3. 3. 5 その他	11
3. 4 機能に関する用語	11
3. 4. 1 時刻・電波修正	11
3. 4. 2 時間計測	13
3. 4. 3 カレンダー	14
3. 4. 4 アラーム	15
3. 4. 5 報時	15
3. 4. 6 その他	16
3. 5 要素・部品に関する用語	18
3. 5. 1 ムーブメント	18
3. 5. 2 外装	19
4. 改正の要点	21
索引	34

## 1. 目的

この規約は、時計業界で用いる主な用語とその定義を定める。採用した用語はカタログ及び取扱説明書など時計の流通業者及び消費者が見る資料に掲載している用語の中で定義を明確にしておいた方がよいものを選択した。

## 2. 引用規格及び規約、関連規格

ISO764	耐磁ウオッチ
JIS B 7024	耐磁携帯時計－種類、性能及び試験方法
ISO1112	機能石及び非機能石
ISO1413	耐衝撃ウオッチ
JIS B 7027	耐衝撃携帯時計－衝撃性能及び試験方法
ISO3159	てんぷ式腕クロノメーター
ISO6425	ダイバーズウオッチ
JIS B 7023	潜水用携帯時計－種類及び性能
ISO6426-2	時計用語－商業技術定義
ISO10553	水晶ウオッチの精度評価方法
JIS B 7025	時計－精度表示
ISO12819	電池駆動ウオッチの電池寿命の評価方法
JIS B 7026	時計－電池寿命の表示
ISO17514	蓄光塗料－試験方法及び要求事項
ISO22810	防水ウオッチ
JIS B 7021	一般用防水携帯時計の種類及び防水性能
JIS B 7001	時計－試験方法
JIS B 7010	時計部品－名称
JCWA-T005	時計部品名称
JCWA-T003	耐金属アレルギー携帯時計－種類及び性能

### 3. 用語と定義

備考 1. ○○時計は○○ウォッチ、○○クロックと細区分してもよい。

例：水晶時計→水晶ウォッチ、水晶クロック

備考 2. ○○time keeping instrument は ○○watch、○○clock と細区分してもよい。

備考 3. 機能に係る用語は、末尾に語“機能”を付けてもよい。

例：時差修正→時差修正機能

#### 3. 1 一般用語

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.1.1	計時装置 time-measuring instrument	測時機	時刻の指示又は時間の測定を、個々に、又は同時に行う装置。	ISO6426-2
3.1.2	時計 timekeeping instrument		時刻を指示する計時装置。  備考 時計全般（ウォッチ、クロック）を表す英語として“timepiece”もある。	ISO6426-2
3.1.3	タイムカウンター time counter	時間計	時間を測定する計時装置。時刻は指示しない。	ISO6426-2
3.1.4	ウォッチ watch	携帯時計 〔腕時計&提時計 (懐中時計)〕	身体に携帯して使用することを主目的とする時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.1.5	クロック clock		一定の姿勢で使用する時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.1.6	機械時計 mechanical timekeeping instrument	機械式時計 メカニカル時計 メカ時計 〔機械式〕 〔ぜんまい式〕 〔てんぷ式〕	動力源、時間基準及び指示装置が機械的構造である時計。	ISO6426-2 JIS B 7001 JIS B 7027
3.1.7	電気時計 electric timekeeping instrument	〔電気式〕 〔電池式〕	電気エネルギーが動力源で、時間基準及び指示装置が機械的構造である時計。  備考 商用電源を動力源及び時間基準とする時計も含む。	ISO6426-2 JIS B 7001

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.1.8	電子時計 electronic timekeeping instrument	〔電子式〕 〔電池式〕	電気エネルギーが動力源で、電子的に制御された時間基準をもつ時計。	ISO6426-2
3.1.9	水晶時計 quartz timekeeping instrument	クォーツ時計 〔水晶式〕	水晶振動子を時間基準にもつ時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.1.10	ムーブメント movement		動力源、時間基準などの装置からなる時計の機械体。  <b>備考</b> 電子式のものをモジュールと呼ぶことがある。	ISO6426-2
3.1.11	外装 casing		ムーブメントを収容し、その固定、保護、操作、表示、外観などの役割を果たす部品（ケース、文字板、針、など）の総称。	ISO6426-2
3.1.12	型 line 又は ligne		ムーブメントの大きさを表す単位。1型が 2.256mm に相当する。	ISO6426-2
3.1.13	機械落ち movement fitting	〔落径〕	ムーブメントのケース又は中枠とはめ合わされる部分。	ISO6426-2 JIS B 7024
3.1.14	キャリバー calibre		ムーブメントの同一性を表す型式。一般には番号と記号で表す。	ISO6426-2
3.1.15	シャブロン chablon		ムーブメントの構成部品の完全なセット。文字板、針類の有り無し、ばら又は一部組立のものがある。	ISO6426-2
3.1.16	振動数 frequency		①1 秒当りの周期の数。ヘルツ (Hz) で示す。 <b>例)</b> 水晶 32,768 Hz ②てんぷ式については、1 秒又は 1 時間当りの半周期の数。半周期を 1 振動と数え、“〇〇振動”と表す。振動数 (Hz) の 2 倍の値となる。 <b>例)</b> 10 振動/秒 = 36,000 振動/時 = 5Hz <b>備考</b> 一般に、〇〇振動/秒を〇〇振動と略す。	ISO6426-2
3.1.17	うるう秒 leap second		標準時と地球自転時 (UT1) との差を ±0.9 秒以内に保つために行う 1 秒ステップの調整。	

### 3. 2 時計の種類に関する用語

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.1	アナログクォーツ 時計 analogue quartz timekeeping instrument	アナログ水晶時計 〔アナログ式〕 〔AQ〕 〔機械表示式〕	指示装置が機械的（文字板、針など） 構造である水晶時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.2.2	デジタルクォーツ 時計 digital quartz timekeeping instrument	デジタル水晶時計 〔デジタル式〕、 〔DQ〕 〔電子表示式〕	指示装置が電子的（液晶、LED など） 構造である水晶時計。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.2.3	コンビネーション クォーツ時計 combination quartz timekeeping instrument 又は analogue and digital quartz timekeeping instrument	コンビネーション 水晶時計 〔コンビネーショ ン式〕 〔CQ〕 〔複合表示式〕	アナログクォーツ時計とデジタルク ォーツ時計の表示機能を併せもつ水 晶時計。	ISO6426-2
3.2.4	腕時計 wrist watch		バンドで腕に装着する時計	
3.2.5	提時計 pocket watch	懐中時計、 ポケットウォッチ	衣服につけたり、ポケットに入れたり して持ち歩くことができる携帯時計。	
3.2.6	置時計 desk clock 又は table clock	卓上時計	机、台の上などに静置して用いる時 計。	
3.2.7	掛時計 wall clock		壁、柱などに固定して用いる時計。	
3.2.8	目覚時計 alarm clock		アラーム機能をもつ時計。	
3.2.9	トラベラークロッ ク traveler's clock 又は travel alarm clock	旅行時計	旅行などに持ち運びできるアラーム 付きの小型の時計。	
3.2.10	鳩時計 cuckoo clock	かっこう時計	毎正時や一定時間ごとに時刻を鳥の 鳴き声で知らせる時計。	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.11	からくり時計 marionette clock(人形が動作するもの) carillon clock(鐘でメロディーを奏でるもの)		設定された時刻に、メロディーと共に文字板や人形などが動作する時計。	
3.2.12	報時時計 acoustic information clock		時計の正時、正時及び30分、正時・15分・30分・45分、又は1分単位に、音で時刻を知らせる時計。	
3.2.13	ホールクロック hall clock		屋内に設置して用いる縦長の大型時計。	
3.2.14	電波時計 radio controlled watch/clock	電波修正時計	標準電波を受信し、自動的に時刻やカレンダー修正を行う機能をもつ時計。	
3.2.15	太陽電池時計 solar cell timekeeping instrument	光発電時計 solar-powered watch/clock	ソーラーセルを用い、光のエネルギーを動力源とする時計。	ISO6426-2
3.2.16	世界時計 world timekeeping instrument	ワールドタイムウォッチ/クロック	世界各地の標準時を表示できる時計。	ISO6426-2 global time
3.2.17	多針時計 multi-hands timekeeping instrument	多軸時計 〔複雑時計〕 マルチハンズ	時針・分針・秒針以外の各種の機能表示針をもつ時計。ただし、小秒針は含まない。  備考 機械式の多針時計を複雑時計ということがある。	
3.2.18	多機能時計 multifunction timekeeping instrument	〔複雑時計〕 マルチファンクション	時刻以外のタイムカウンター、アラームなどの機能をもつ時計。  備考 機械式の多機能時計を複雑時計ということがある。	ISO6426-2
3.2.19	小秒針時計 timekeeping instrument with small seconds hand	スモールセコンド時計、サブセコンド時計、副秒針時計	秒針が時分針軸から離れた別の軸になっている時計。	ISO6426-2
3.2.20	音声時計 talking watch/ clock		音声で時刻などを知らせる時計。	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.21	視覚障害者対応時計 braille watch/clock	盲人時計、触読時計、点字時計	音声又は指の触覚だけで時刻が分かるようにした時計。	
3.2.22	耐ニッケルアレルギーウォッチ anti-nickel allergy watch 又は nickel allergy resistant watch		携帯時に肌に触れる部分がニッケルアレルギーを生じさせないよう配慮した素材及び表面処理で構成したウォッチ。	JCWA-T003
3.2.23	耐メタルアレルギーウォッチ anti-metal allergy watch 又は metal allergy resistant watch	耐金属アレルギーウォッチ	携帯時に肌に触れる部分が全ての金属アレルギーを生じさせないよう配慮した素材及び表面処理で構成したウォッチ。	JCWA-T003
3.2.24	トゥールビヨンウォッチ tourbillon watch		脱進機構の全パーツとその中央に调速機（てんぷ）を収めた可動ケージをもつウォッチ。がんぎかなは、固定された四番車の周りを回転する。ケージは通常、1分間で1回転し、回転しながら垂直姿勢差が最小になるように調節する。	ISO6426-2
3.2.25	カルーセルウォッチ carrousel watch		トゥールビヨンウォッチと同様の装置をもち、ケージが四番車ではなく、三番車の周りを回転するウォッチ。	ISO6426-2
3.2.26	クロノメーター chronometer		CICC（国際クロノメーター管理委員会）の管理下にある公的機関によって検定を受け、合格した高精度機械時計に与えられる称号。検定の方法及び合格水準は【ISO3159：時計ーてんぷ式腕クロノメーター】で規定している。	ISO6426-2 ISO3159
3.2.27	クロノグラフ chronograph		時刻の指示の他に時間の測定もできる時計。	ISO6426-2
3.2.28	ストップウォッチ stop watch		携帯用のタイムカウンター。  備考 デジタル式で時刻表示機能を備えたものもある。	ISO6426-2
3.2.29	タイマー timer		予め設定された時間の逆算ができるタイムカウンター。	ISO6426-2

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.2.30	スケルトン時計 skeleton watch/ clock	スケルトン	外装を通して、骨格形状をしたムーブメントが見える時計。	ISO6426-2
3.2.31	衛星電波時計 satellite radio- controlled watch/clock	衛星電波修正時計 satellite synchronized (satellite- sync)watch/clock GPS 衛星電波時計	GPS(Global Positioning System)衛星等GNSSの電波を受信して、自動的に時刻やカレンダーの修正を行う機能をもつ時計。	

### 3. 3 性能に関する用語

#### 3. 3. 1 精度

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.1.1	指示差 state		時計が表示している時刻と、基準とする時計の時刻との差。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.2	歩度 rate		時計の精度を短時間に測定し、1日当たりの進み遅れに換算した値。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.3	日差 daily rate		24時間の間隔で測定した指示差の1日当たりの差。 注) 時計が進みならプラス (+)、遅れならマイナス (-) で表す。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.4	月差 monthly rate		1ヶ月の進み遅れの累積値。	ISO6426-2 JIS B 7025
3.3.1.5	平均月差		1年を通して測定した月差の平均値	JIS B 7025
3.3.1.6	年差 annual rate		1年間の進み遅れの累積値。	ISO6426-2 JIS B 7025
3.3.1.7	ドリフト drift		歩度又は、日差の経時的な変化率。ある日測定した歩度又は日差と、ある期間隔てて同一の条件で測定した歩度又は日差の単位時間当りの差で表す。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.3.1.8	緩急 regulation		時計の精度を調整すること。	ISO6426-2

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.1.9	論理緩急 theoretical regulation	logical regulation	水晶振動子の周波数を調整せず、分周回路の一部でパルスを加減して調整する緩急方法。	
3.3.1.10	温度補正 thermal compensation		時計及び付加機能の精度に及ぼす温度変化の影響を補正すること。	ISO6426-2
3.3.1.11	作動温度範囲 operational temperature range	動作温度範囲	(水晶) 時計が作動する温度範囲。	
3.3.1.12	使用温度範囲 usage temperature range		安定した性能が維持される温度範囲。	
3.3.1.13	携帯精度 normal usage accuracy		気温 5°C~35°Cの環境で1日最低8時間以上ウォッチを腕に着けている時の精度。通常ウォッチはこの状態で最も精度が安定するように調整されている。	
3.3.1.14	日較差 daily variation in daily rate		ある日測定した歩度又は日差と翌日同一の条件で測定した歩度又は日差との差で表す。	JIS B 7001

### 3. 3. 2 防水性能

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.2.1	防水性 water resistance	〔防水時計〕	外部から時計のケース内へ、水・汗などが侵入することを防ぐ特性。	ISO6426-2 ISO22810 JIS B 7001 JIS B 7021
3.3.2.2	非防水 non-water resistant	〔非防水時計〕	防水性をもたない性能。	ISO6426-2
3.3.2.3	日常生活用防水 water resistant for daily use	〔日常生活用防水時計〕	日常生活での汗や洗顔のときの水滴・雨などに耐える性能。 検査方法と要求事項は【JIS B 7021 一般用防水携帯時計】及び、【ISO22810 防水ウォッチ】で規定している。	JIS B 7021

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.2.4	日常生活用強化防水 enhanced water resistant for daily use	〔日常生活用強化防水時計〕	水泳など水中での使用が可能な性能。検査方法と要求事項は【JIS B 7021 一般用防水携帯時計】及び、【ISO 22810 防水ウォッチ】で規定している。	JIS B 7021
3.3.2.5	スクーバ潜水用防水 water resistant for scuba diving	空気潜水用防水	自給気式水中呼吸装置（SCUBA）を使用する浅海潜水に耐える性能。検査方法と要求事項は【JIS B 7023 潜水用携帯時計】及び、【ISO6425 ダイバーズウォッチ】で規定している。	ISO6425 JIS B 7023
3.3.2.6	飽和潜水用防水 water resistant for saturation diving	混合ガス潜水用防水 〔飽和潜水時計〕	ヘリウムなどの不活性ガスと酸素から成る高圧混合ガスを呼吸気体として用いる深海潜水で最低200mの潜水に耐える性能。検査方法と要求事項は【JIS B 7023 潜水用携帯時計】及び、【ISO6425 ダイバーズウォッチ附属書 A】で規定している。	ISO6425 JIS B 7023
3.3.2.7	潜水用防水 water resistant for diving	〔潜水時計〕 〔ダイバーズウォッチ〕	スクーバ潜水用防水と飽和潜水用防水の総称。	

### 3. 3. 3 耐磁性能

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.3.1	耐磁性 magnetic resistance	〔耐磁時計〕 〔強化耐磁時計〕	時計が、日常の使用中に受ける程度の磁場に耐える特性。	ISO764 JIS B 7001 JIS B 7024
3.3.3.2	磁気シールド magnetic shield		外部磁場からムーブメント（特にモーター）を保護する性能。	

### 3. 3. 4 耐衝撃性能

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.4.1	耐衝撃性 shock resistance	〔耐衝撃時計〕 〔shock-resistant watch〕	時計が、日常の使用中に受ける程度の衝撃に耐える特性。	ISO6426-2 ISO1413 JIS B 7001 JIS B 7027

### 3. 3. 5 その他

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.3.5.1	電池寿命 practical battery life		所定の電池を時計に組み込み駆動を開始してから、標準的な使用状態において時計が停止又は電氣的表示が判読不可能となるまでの期間。	ISO6426-2 ISO12819 JIS B 7026
3.3.5.2	持続時間 autonomy	power reserve	時計を始動してから運転が停止するまでの時間。  備考 ISO6426-2 では、“autonomy”、“power reserve” 個別に定義されているが、同義語追加に当たり、ISO6426-2 での定義を確認し追加した。(詳細は 2021 年度改訂履歴参照)	ISO6426-2 JIS B 7001

## 3. 4 機能に関する用語

### 3. 4. 1 時刻・電波修正

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.1.1	秒帰零 seconds zero reset		秒の指示が零（ゼロ）位置に急速に戻る機能。秒帰零は、時報に秒の指示を合わせることを可能にする。	ISO6426-2
3.4.1.2	復針 hands reset to original position		設定された位置に時分針などが急速に戻る機能。	ISO6426-2
3.4.1.3	時刻早修正 quick correction of time		時分秒の指示の進み遅れを急速に正又は逆回転により修正する機能。	ISO6426-2
3.4.1.4	時差修正 quick correction function of time difference		時計の動きを止めずに、時間単位で時刻修正が可能な機能。	
3.4.1.5	秒針規正 seconds hand stop	秒針停止	りゅうず、ボタンなどの操作によって秒針を一時的に停止する機能。	ISO6426-2
3.4.1.6	デュアルタイム dual time		二つの異なった時刻を表示する機能。	ISO6426-2
3.4.1.7	基準位置 reference position		時刻等を正しく表示するための基準となる針の位置	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.1.8	強制受信 manual reception	手動受信 強制時刻修正	ボタン等の操作によって時刻情報電波を受信して時刻を合わせること。	
3.4.1.9	自動受信 automatic reception	定時受信 定時自動受信	ある一定の条件、もしくは既定の時刻に自動的に時刻情報電波を受信して時刻を合わせること。	
3.4.1.10	自動選局機能 automatic tuning function	自動選択機能 〔auto tuning〕	仕様の異なる標準電波を自動的に選択し、受信する機能。	
3.4.1.11	受信状態表示機能 reception level display function		時刻情報電波の受信状態を表示する機能。	
3.4.1.12	受信結果表示機能 reception result confirmation function	受信確認表示機能	時刻情報電波を受信し、時刻を合わせられたかどうかの結果を表示する機能。	
3.4.1.13	受信 ON/OFF 機能 reception ON/OFF function	機内モード	時刻情報電波の受信の ON/OFF を選択する機能。	
3.4.1.14	標準電波 standard-time and frequency-signal emission	standard-time electric wave 又は standard radio wave	タイムコード化された標準時の時刻情報を標準周波数にのせて、送信される電波。	
3.4.1.15	衛星電波	GPS 衛星電波 GPS 電波	GPS(Global Positioning System)衛星等 GNSS から発信されている電波。	
3.4.1.16	福島長波局 Fukushima low frequency office	福島局（東局） Fukushima signal	国立研究開発法人情報通信研究機構の「おおたかどや山標準電波送信所」(40kHz)	
3.4.1.17	九州長波局 Kyushu low frequency office	九州局（西局） Kyushu signal	国立研究開発法人情報通信研究機構の「はがね山標準電波送信所」(60kHz)	
3.4.1.18	サマータイム ON/OFF 選択機能 daylight saving time ON/OFF selection function	サマータイム ON/OFF 機能 DST ON/OFF	夏時間の ON/OFF を選択する機能	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.1.19	マルチバンド multiband	マルチバンド受信 マルチ受信 多局受信	複数の標準電波を受信する機能	
3.4.1.20	針位置自動補正機能	針自動補正機能 針位置自動修正機能	一定時間ごとに針位置をチェックし衝撃や磁気など外部からの影響で針がずれた場合に自動的に補正して正しい時刻を保持する機能。	
3.4.1.21	ホームタイム/ローカルタイム入替機能		時計のボタン/りゅうず操作または、スマートフォンのアプリケーションソフトの操作により、ホームタイムとローカルタイムを入れ替える機能。	
3.4.1.22	GMT 機能		時針と 24 時針がそれぞれ別の時刻を示すことによって、時差のある 2 つのタイムゾーンの時刻を表示することができる機能。  注 GMT とは、かつて世界標準時だった Greenwich Mean Time の略。	

### 3. 4. 2 時間計測

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.2.1	潜水時間表示計 diving time indicator	タイムプリセレクト ティング装置 time preselecting device	回転ベゼル・数値表示装置などによって時間測定ができる装置。	ISO6425 ISO6426-2 JIS B 7023
3.4.2.2	音声タイマー sound timer		スタートから設定時間ごとに経過時間などを音声で知らせる機能。	ISO6426-2
3.4.2.3	オートクロノグラフ automatic chronograph	〔オートクロノ〕 〔auto chronograph〕 〔auto chrono〕	クロノグラフ機能と自動巻き装置を備えた時計	ISO6426-2
3.4.2.4	スプリットタイム split-time counter		同一の起点からの経過時間を順次測定し、時間測定を継続しながら表示できる機能。	ISO6426-2
3.4.2.5	ラップタイム lap-time counter		前の経過時間の測定が終わる瞬間を起点として、次の経過時間の測定ができる機能。	ISO6426-2

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.2.6	タキメーター tachymeter		一定区間を走行した時間を測定し、その時間からおおよその平均時速を換算表示する機能。	
3.4.2.7	潜水ログデータ log data		潜水開始時刻、浮上時刻、最大深度、潜水時間、潜水回数、平均水深、日付などダイビングの記録。	
3.4.2.8	スプリット セコンド split second	ラトラパンテ	クロノグラフの一種で、2本の針でふたつの計測時間を表示できる機能。	

### 3. 4. 3 カレンダー

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.3.1	カレンダー calendar	〔カレンダー付〕 〔カレンダー時計〕	日付、曜日、月、年などを表示する機能。	ISO6426-2
3.4.3.2	オートカレンダー auto calendar	アニュアルカレンダー 年次カレンダー	うるう年の2月29日を除き、毎月末の日付修正を必要としない機能。	ISO6426-2
3.4.3.3	フルオートカレンダー full auto calendar	パーペチュアルカレンダー 万年カレンダー	うるう年の2月29日を含み、毎月末の日付修正を必要としない機能。	ISO6426-2
3.4.3.4	ムーンフェイズ moon phase	月齢	月の満ち欠けを表示する機能。	ISO6426-2
3.4.3.5	カレンダー早修正 quick calendar correction		日付、曜日、月などを迅速に修正できる機能。	ISO6426-2
3.4.3.6	リバースカレンダー reverse calendar	レトログランドカレンダー	日付を扇形状に表示し、月末に又は操作により日針が急速に目盛の最初に戻る機能。	ISO6426-2

### 3. 4. 4 アラーム

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.4.1	アラーム alarm		音や振動などにより、時刻や注意が必要なことを知らせる機能。 備考 “アラーム”の前に音の種類をつけてアラームの種類として用いることがある。 例) メロディー音アラーム、電子音アラーム、ベル音アラーム、合成音アラームなど	
3.4.4.2	デイリーアラーム daily alarm		セット時刻が解除されない限り、毎日設定時刻に鳴るアラーム機能。	ISO6426-2
3.4.4.3	ワンショットアラーム one-shot alarm	ワンタッチアラーム クイックアラーム	セットしたアラームが一度鳴るとそのアラームの設定が解除されるアラーム機能。	ISO6426-2
3.4.4.4	スヌーズ snooze		アラームを停止しても短時間後に、再びアラームが鳴る機能。	ISO6426-2
3.4.4.5	マルチアラーム multi alarm		複数のアラーム設定ができる機能	

### 3. 4. 5 報時

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.5.1	報時 acoustic information		時刻情報を音響的に与える装置 正時を知らせるものを正時打ち、正時及び30分を知らせるものを半打ち、正時、15分、30分及び45分を知らせるものを四所(よどころ)打ちという。	ISO6426-2 JIS B 7001
3.4.5.2	報時鳴止め striking shut off		特定の時間、自動又は任意に時報の鳴りを止めることができる機能。	
3.4.5.3	リピーター repeater		操作によって現在時刻(時間、30分、15分、又は1分単位で)を音で知らせる機能。	ISO6426-2
3.4.5.4	グランドストライク grand strike		正時および15分ごとに自動的に現在時刻を音で知らせ、かつリピーターのように操作によって現在時刻を音で知らせる機能。	ISO6426-2

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.5.5	ソヌリ sonnerie 又は striking mechanism		時計の正時、正時及び 30 分、又は正時、15 分、30 分及び 45 分に、機械的に現在時刻を音で時刻を知らせるウォッチ機能。	

### 3. 4. 6 その他

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.6.1	自動巻 automatic	〔自動巻時計〕	腕の動きによってぜんまいを自動的に巻き上げる機能。	ISO6426-2
3.4.6.2			「耐振軸受 (shock-absorber)」を 3.5.1.10 項へ移動のため空番。	
3.4.6.3	システムリセット system reset	イニシャルセット 〔AC〕 オールリセット	CPU などの IC を組み込んだ時計で、電池交換時やトラブル発生時に時計の各種機能を初期状態に戻す機能	ISO6426-2
3.4.6.4	モード mode		多機能時計で、時刻・時間測定・アラームなどのそれぞれの機能を表示・操作できる状態を示す用語。	ISO6426-2
3.4.6.5	オートリターン auto return		基本モード以外のモードにあったとき、一定時間外部操作が行われない場合、自動的に基本モードに復帰する機能。	ISO6426-2
3.4.6.6	パワーリザーブ インジケーター power reserve indicator	充電量表示 バッテリー インジケーター バッテリー残量 インジケーター	充電装置をもつクォーツ式時計において充電量の目安を表示する機能。	ISO6426-2 charge level indicator
			機械式時計のぜんまいの巻き上げ残量を表示する機能	
3.4.6.7	電池寿命切れ予告 表示 battery life indicator	〔BLD〕	電池容量が少なくなって電池交換の時期が来たことを知らせる機能。	ISO6426-2 indication of end of battery life
3.4.6.8	メロディー運針 rhythmical motion		一定時刻に又は操作によりメロディーが鳴り、それに合わせて針がリズムカルに運針する機能。	
3.4.6.9	スイープ運針 sweep motion second 又は sweeping motion second	スイープセコンド 連続運針 連続秒針	連続して流れるような秒針の動き。	

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.4.6.10	ステップ運針 step motion second 又は stepping motion second	ステップセコンド ステップ秒針	1秒ごとの区切りがある秒針の動き。	
3.4.6.11	サウンドモニター sound monitor	サウンドデモンストラーション アラームモニター	操作により随時アラーム音などを鳴らすことのできる機能。	
3.4.6.12	ペースメーカー pace maker		設定した任意の時間間隔で音を出す機能。	
3.4.6.13	操作確認音 beep sound		ボタン操作などの操作が確実に行われたことを音で知らせる機能。	
3.4.6.14	自動巻発電 automatic power generating system	〔自動巻発電時計〕	時計が動かされるたびに自動的に発電及び充電を行う機能。	
3.4.6.15	過充電防止 overcharge prevention function		二次電池などへの充電し過ぎを防止する機能。	
3.4.6.16	充電切れ予告機能 energy depletion forewarning function	エネルギー切れ 予告機能 バッテリー充電 警告機能 充電警告機能	充電装置をもつ時計において、充電量が低下して、間もなく時計が止まり充電量が不足していることを予告する機能。	
3.4.6.17	パワーセーブ機能 power save function 又は energy save function	パワーセービング機能、 節電機能	時刻表示等一部の動作を停止し、節電状態になる機能。 節電状態が解除されると現在の時刻等を表示し、元の状態に復帰する。	
3.4.6.18	ライト light	照明	EL や LED などの発光素子により文字板や液晶パネル等の表示を照明する機能。	
3.4.6.19	充電時間 charging time		充電装置を持つ時計において充電に必要な時間の目安。	
3.4.6.20	スマートフォン探索機能		時計からの操作でスマートフォン等を鳴らしたり、振動させる機能。	

### 3. 5 要素・部品に関する用語

#### 3. 5. 1 ムーブメント

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.1.1	ステップモーター stepping motor		電気パルスにより間欠的に回転するモーター。	ISO6426-2
3.5.1.2	巻真 winding stem		時計のぜんまいの巻き上げ、針の位置修正、カレンダーの修正などを行う操作軸。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.1.3	巻真 setting stem		時計の針の位置修正、カレンダーの修正などを行う操作軸。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.1.4	機能石 jewel	〔非機能石〕	摩擦を安定させ、接触面の摩耗を減らすために軸受その他に用いる石。 【ISO 1112 ・機能石及び非機能石】で規定している。	ISO6426-2 ISO1112
3.5.1.5	トリマー trimmer	トリマーコンデンサー	水晶振動子を含む発振回路の周波数調整を行う可変容量コンデンサー。	ISO6426-2
3.5.1.6	モニター用電池 monitor battery		工場出荷時点で組み込まれている電池。電池寿命は保証対象外。	
3.5.1.7	太陽電池 solar cell	ソーラーセル	光エネルギーを電気エネルギーに変換する素子。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.1.8	二次電池 secondary battery 又は rechargeable battery	充電式電池 蓄電池	繰り返し充放電が可能な化学反応を利用した電源用部品。	ISO6426-2 Accumulator JIS B 7010
3.5.1.9	キャパシター capacitor	コンデンサー	繰り返し充放電が可能な物理現象を利用した電源用部品。	JIS B 7010
3.5.1.10	耐振軸受 shock-absorber	耐衝撃軸受	衝撃から軸を保護する機能をもつ軸受。	ISO6426-2
3.5.1.11	脱進機 escapement		てんぷへのエネルギー伝達と、てんぷの振動を回転運動に変換する装置	ISO 6426-2

### 3. 5. 2 外装

#### 1) ケース部

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.1	ケース case		表示部・バンド部を除く、胴・ガラス・裏ぶたなどの外装部品一式。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.2	ワンピースケース one-piece case		胴と裏ぶたが一体化した構造のケース。	ISO6426-2
3.5.2.3	シースルーケース バック see-through case back	シースルーバック 〔シースルー〕	ムーブメントが見えるように透明または透明部品がはめ込まれている裏ぶた。	
3.5.2.4	回転ベゼル rotating bezel		主として目盛を記載している縁で、回転によって、時間、方位などを知らせることのできる部品。  <b>備考</b> 一方向にのみ回転する構造のものを、逆回転防止ベゼル（One way rotating bezel）という。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.5	りゅうず crown		時刻、カレンダーセットなどを回転などによって行う外部操作部材。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.6	ねじロックりゅうず screw down crown	ねじロック式りゅうず	防水性を高め、誤操作を防止するため、ねじによりケースに固定されるりゅうず。	ISO6426-2
3.5.2.7	ボタン push button	プッシュボタン	時刻、カレンダーなどのセットをプッシュなどによって行う外部操作部材。	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.8	ねじロックボタン screw down push button	ねじロックプッシュボタン	防水性を高め、誤操作を防止するため、ねじによりケースに固定されるボタン。	ISO6426-2
3.5.2.9	リング ring	ダイヤルリング 見返しリング	保持・固定の機能を持たないリング状の部品。リングの前に使用箇所を表す語を付けて個別部品名称として用いる。	JIS B7010
3.5.2.10	耐磁板 magnetic shield plate		外部磁界を吸収し、ムーブメント内への磁界の流入を減少させる板状の部品。	JIS B 7010
3.5.2.11	エスケープバルブ escape valve		飽和潜水の時に時計内に入り込んだヘリウムを排出させるバルブ	

## 2) 表示部

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.12	文字板 dial		ムーブメントに取り付け、時に関する情報を示す目盛、マーク等を持つ部品	ISO6426-2 JIS B 7010
3.5.2.13	蓄光 photoluminescence	蓄光塗料	光のエネルギーを貯え、針、目盛などを光らせる素材。	ISO17514
3.5.2.14	目盛リング indicator ring	固定目盛リング 回転目盛リング	目盛を持つリング状の表示部品	JIS B 7010

## 3) バンド部

項目番号	用語 対応英語	同義語 〔派生語・略語〕	定義	引用規格
3.5.2.15	美錠 buckle		バンド部外端に取り付け、つく棒によってもう一方のバンド部と連結され、バンド全体の長さを調整する機能をもつ部品。	JIS B 7010
3.5.2.16	中留 clasp		12 時側バンドと 6 時側バンドを連結する部品。バンドの長さを調整する機能をもつものもある。	JIS B 7010

## 4. 改正の要点

### 2002年改正の要点

技術部会国際規格WG、通商部会消費者関連WGの共同作業により、現行規約の全面的見直しを行い、改正した。

主な改正点は以下のとおりである。

#### 1. 用語の追加

現行96用語に、新たに下記の44用語を追加し、計140用語を規定した。

なお、これに基づき、国際規格ISO6426-2(時計用語—商業技術定義)に規定されていなかった41用語を追加規定するよう提案し、採択された。

##### 3.1 一般用語：4用語

計時装置、タイムカウンター、うるう秒、標準電波

##### 3.2 時計の種類に関する用語：16用語

提時計、置時計、掛時計、目覚時計、トラベラークロック、鳩時計、からくり時計、ホールクロック、電波修正時計、視覚障害者用時計、対局時計、耐ニッケルアレルギーウォッチ、耐メタルアレルギーウォッチ、トゥールビヨンウォッチ、カルーセルウォッチ、自動巻クロノグラフ

##### 3.3 性能に関する用語：3用語

作動温度範囲、使用温度範囲、潜水用防水

##### 3.4 機能に関する用語：13用語

時差修正、タキメーター、ログデータ、リバースカレンダー、電子音アラーム、ベル音アラーム、合成音アラーム、リピーター、グランドストライク、スワイプ運針、ステップ運針、自動巻発電、過充電防止

##### 3.5 要素・部品に関する用語：8用語

機能石、二次電池、キャパシター、シースルー、ねじロックボタン、蓄光、美錠、中留

#### 2. 用語表様式の改正

①対応英語：英語に関しても用語統一を図るため、対応英語を追加した。

②同義語、派生語、略語：用語のバリエーションを一々規定すると規約が煩雑になるので、同義語、派生語、略語欄を設け、規約を使い易くした。

- ③〇〇時計、〇〇ウォッチ、〇〇クロック、〇〇機能のように、用語を細区分して用いる  
ことがあり、これらを一々規定すると規約が煩雑になるので、備考に一括して規定した。
- ④引用規格：用語及びその定義の出典を明確にするため、引用規格欄を設けた。

## **2005年改正の要点**

技術標準化委員会、消費者委員会の共同作業により、現行規約の全面的見直しを行い、改正した。

主な改正点は以下のとおりである。

### **\*電波修正関係用語の追加**

- 1)新たに電波修正関係用語8用語を3.4.1項に追加規定した。  
なお、3.4.1時刻は時刻・電波修正とした。
- 2)3.1.18標準電波は、3.4.1.13に移動した。

## **2008年改正の要点**

### ①3.2.13 太陽電池時計

同義語の「ソーラーウォッチ／クロック」を削除。

\*「ソーラー」は登録商標であるとの指摘があり、これを含む語の使用には法的な判断を要するため、削除することとした。

なお、対応英語の”solar-powered watch／clock”、”solar cell time keeping instrument”については、商標権の範囲外の一般名称であるとの見解があり、そのまま残した。

### ②3.2.17 小秒針時計

同義語に、「サブセコンド時計」、「副秒針時計」を追加。

[クロックでは、小秒針時計より、上記の語の方を現状使用している]

### ③3.4 機能に関する用語の3.4.6 その他への用語の追加

充電装置をもつ時計に関する用語の「3.4.6.16 充電切れ予告機能」、「3.4.6.17 パワーセーブ機能」を新たに追加規定した。]

## **2010年改正の要点**

2010年度見直しによる主な改正点は以下の通りである。

### 1)用語の定義変更

#### ①3.4.6.17 パワーセーブ機能

定義において、充電装置を持つ時計を前提としているが、一次電池で動作する時計の節電機能としてもあるので、“一定時間経過すると時刻表示等一部の動作を自動的に停止し節電状態になる機能、節電状態が解除されると現在に時刻等を表示し元の動作に復

帰する”に修正した。

#### ②3.5.2.12 目盛りリング

目盛りリングを見返しリング(dial trim ring)に置き換え、目盛りリング、ダイヤルリングを同義語とした。見返しリングの定義を目盛りや華飾要素を持つリングとし、目盛りリングは見返しリングの一部とした。

### 2) 用語の追加

#### ①3.4.1 時刻・電波修正

3.4.1.16 サマータイム ON/OFF 選択機能 及び 3.4.1.17 マルチバンドを追加した。

#### ②3.4.6 その他

3.4.6.11 ライト 及び 3.4.6.12 充電時間 を追加した。

### 3) 同義語の追加

①3.3.1.8 論理緩急に、英語表示の **logical regulation** を追加。

②3.3.1.10 作動温度範囲に、動作温度範囲を追加（一般的使用があるため）。

③3.4.3.3 フルオートカレンダーに、パーペチュアルカレンダー、パーペチュアルカレンダーを追加。

④3.4.3.6 リバースカレンダーに、レトログランドカレンダーを追加。

⑤3.4.6.6 充電量表示に、バッテリーインジケータ、バッテリー残量インジケータを追加。

⑥3.5.2.6 ねじロックりゅうずに、ねじロック式りゅうずを追加。

また、3.4.5.1 報時の同義語に時報を追加する意見があったが、“報時”は時を知らせる働きをするときに使用し、“時報”は時を知らせる動作（音）そのものを表す時に用いる等、使い分けしている実績があることから、同義語とはしないことにした。

### 4) その他

#### ①3.2.19 盲人時計

同義語の視覚障害者用時計を近年のひらがなで表記する配慮を反映し、視覚障がい者用時計に変更した。

## **2013年改正の要点**

主な改正点は以下の通りである。

### 1) 用語及び同義語の追加

項目番号	用語	同義語
3.2.4	腕時計	
3.2.30	衛星電波修正時計	衛星電波時計
3.4.1.14	衛星電波	GPS 電波 GPS 衛星電波
3.4.1.19	針位置自動補正機能	針自動補正機能 針位置自動修正機能

3.5.2.9	リング	ダイヤルリング 見返しリング
3.5.2.10	エスケープバルブ	

## 2) 同義語の追加

項目番号	用語	同義語
3.1.4	ウォッチ	[腕時計&提時計(懐中時計)]
3.2.16	多針時計	マルチハンズ
3.2.17	多機能時計	マルチファンクション
3.4.1.7	強制受信	強制時刻修正
3.4.1.12	受信ON/OFF機能	機内モード
3.4.1.18	マルチバンド	多局受信
3.4.4.2	ワンショットアラーム	クイックアラーム
3.4.6.3	システムリセット	オールリセット
3.4.6.11	サウンドモニター	アラームモニター
3.5.2.8	ねじロックボタン	ねじロックプッシュボタン

## 3) その他

- ① P2 2 項 引用規格、P7 .3.3.2.3 項/3.3.2.4 項 ISO 2281 の修正  
ISO 2281 は、2010 年 8 月に改訂され ISO 22810 となっていることから置き換えた。
- ② 用語の定義を、JIS B 7010 (2012 年度改正予定版) に一致させた。  
対象用語：回転ベゼル、りゅうず、ボタン、耐磁板、文字板、美錠 等
- ③ 3.2.20 対局時計は、「対局」が会員企業の商標であるため削除した。
- ④ 3.2.27 自動巻クロノグラフは、3.2.26 クロノグラフに包括されるため削除した。
- ⑤ 3.4.2.1 タイムプリセレクト装置の定義を“回転ベゼル・数値表示装置など”  
と修正し、ISO 6426-2 と一致させた。
- ⑥ 3.4.6.6 充電量表示をパワーリザーブインジケータに置き換え、定義欄で充電装置  
をもつクォーツ式時計の充電量の目安を表示する機能と機械式時計のぜんまい巻き  
上げ残量を表示する機能を区分し規定した。
- ⑦ 3.5.2.14 見返しリングを JISB7010 (2012 年度改正予定版) に合わせ目盛リングに置き  
換えた。  
これにより、ケース部の用語にリングを追加し、同義語としてダイヤルリング、見返  
しリングを規定した。
- ⑧ 3.5.2 外装の項目を、1)ケース部、2)表示部、3)バンド部に分類し判り易くした。
- ⑨ 3.2.30 衛星電波修正時計の対応英語として、satellite radio controlled  
watch/clock、  
同義語として、satellite-synchronized (satellite-sync) watch/clock としたが、  
英語圏の関係者の意見では、satellite-synchronized watch /clock を対応英語とし、  
satellite radio controlled watch / clock を同義語とする方がよい。」との意見であ

ったが、既に、電波修正時計の対応英語として、radio controlled watch/clock が日本国内で広く浸透していることから、今回の規定とした。

関連する新しい商品が市場に投入された時点で再検討することを視野に入れておく。

## **2015年改正の要点**

主な改正点は以下の通りである。

### 1) 用語の追加

- ・ 3.1.12 報時時計 ・ 3.3.1.5 平均月差 ・ 3.4.1.7 基準位置 ・ 3.4.4.1 アラーム

### 2) 主用語の変更

市場で認知されている用語を主用語として同義語と入れ替えた。

- ・ 3.2.14 電波時計 (同義語：電波修正時計)
- ・ 3.2.31 衛星電波時計 (同義語：衛星電波修正時計)

### 3) 同義語の追加

- ・ 3.5.1.8 二次電池 追加同義語：充電式電池、蓄電池
- ・ 3.2.31 衛星電波時計 追加同義語：GPS 衛星電波時計

### 4) 定義の見直し

- ・ 3.2.10 鳩時計

“かっこう”の鳴き声を“鳥”の鳴き声に変更。また、30分毎とも限らないので、“一定時間ごと”に修正。

- ・ 3.2.31 衛星電波時計

電波を受信する衛星はGPS衛星のみとは限らないので、上位のGNSS (Global Navigation Satellite System) としたが、GNSSがまだ一般の認知が不十分なので、“GPS (Global Positioning System) 衛星等”を頭に着けた。

- ・ 3.4.1.8 強制受信

操作は時間に縛られないので、“既定の時間以外で”を削除した。

- ・ 3.4.1.14 標準電波

“国家標準または国際標準として政府や公的機関が発信・運用している時刻情報電波”としていたが、長波電波以外の包括と誤解されるため、“タイムコード化された標準時の時刻情報を標準周波数にのせて、送信される電波”とした。

- ・ 3.4.1.15 衛星電波

衛星電波時計とあわせて、“GPS (Global Positioning System) 衛星等 GNSS から発信されている電波”とした。

- ・ 3.4.6.17 パワーセーブ機能

一定時間経過以外の操作で節電状態に入る時計も有ることから、“一定時間経過すると”の表現を削除した。

- ・ 3.5.2.6 ねじロックりゅうず

・ 3.5.2.8 ねじロックボタン

防水性を高める以外に、“誤操作を防止するため”を追記した。

5) その他

・ 3.3.3.2 磁気シールド

引用規格に ISO6425-2 を追記した。

・ 3.4.1.9 自動受信

規定の時刻に受信を行う場合と、そうでない場合があり、“自動受信”を上位とし、(定時自動受信は同義語) 両方の内容と合わせた定義とした。

・ 3.4.4.1 アラーム

メロディー音アラームの用語追加の提案が合ったが、今後同様な用語が増加していくことが懸念されるため、アラームという用語を定義し、その中で、音での種類を包括した。

・ 3.5.2.4 回転ベゼル

ダイバー時計に使われる、“逆回転防止ベゼル”を備考に追記した。

・ 3.5.2.12 文字板

引用規格に ISO6425-2、JIS B7010 を追記した。

・ リングが回転する構造については、“回転目盛りリング”を用語として使用することを確認した。

・ 衛星電波時計について、位置情報を取得して現在地の時刻を表示するものと、そうでないものが有り、定義づけについて審議の結果、衛星電波時計に含まれるものとし、カテゴリー分けは行わないこととした。

## **2017年改正の要点**

主な改正点は以下の通りである。

1) 用語の追加

- ・ 3.4.1.21 ホームタイム/ローカルタイム入替機能
- ・ 3.4.6.20 スマートフォン探索機能

2) 定義の見直し

下記の用語について、JIS B 7001 (時計-試験方法) と JIS B 7025 (時計-精度表示) の用語の定義に合わせて修正した。

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| ・ 3.1.4 ウオッチ  | ・ 3.3.1.2 歩度   | ・ 3.3.1.3 日差  |
| ・ 3.3.1.4 月差  | ・ 3.3.1.6 年差   | ・ 3.3.2.1 防水性 |
| ・ 3.3.3.1 耐磁性 | ・ 3.3.4.1 耐衝撃性 | ・ 3.4.5.1 報時  |

3) その他

- ・ 「ホームタイム/ローカルタイム入替機能」の用語を追加検討時に「ホームタイム」の

定義を審議したが各社の製品仕様、ユーザーの捉え方・考え方でも変わるため、今回は見送りとした。

## **2019年改正の要点**

主な改正点は以下の通りである。

1) 引用規格及び規約、関連規格に下記の規格を追加した。

①JIS B 7027 耐衝撃携帯時計—衝撃性能及び試験方法

②ISO 12819 電池駆動ウォッチの電池寿命の評価方法

2) 用語と定義

①3.3.2.5：空気潜水用防水の対応英語

“water resistant for air diving”又は“water resistant for scuba diving”を追加した。

②3.3.2.6：飽和潜水用防水の対応英語

“water resistant for mixed-gas diving”又は“water resistant for saturation diving”を追加した。

③3.3.3.1：耐磁性の対応英語

“magnetic resistance”の表記を残し、“antimagnetism”は“非磁界影響 (=全く影響ない)”の意味となるため削除した。

なお、審議の中でデジタル時計は構造的に磁界影響を全く受けないため“antimagnetism”であることを情報共有した。

④3.4.1.16：福島長波局の定義

“独立行政法人情報通信研究機構”を“国立研究開発法人情報通信研究機構”に変更した。

⑤3.4.1.17：九州長波局の定義

“独立行政法人情報通信研究機構”を“国立研究開発法人情報通信研究機構”に変更した。

⑥3.4.4.5：マルチアラームの定義

“複数のアラーム時刻の設定ができる機能”を“複数のアラーム設定ができる機能”に変更した。

3) その他

①3.2.21：盲人時計（視覚障害用時計・点字時計）

盲人という用語は法律（消費税法の一部を改正する法律の施行に伴う身体障害者用物品の非課税扱いについて）に“盲人用時計”の記載があること、また、公益財団法人東京都福祉保健財団：福祉用具給付制度の情報、意思疎通支援用具に“盲人用時計”が記載されており、差別用語には当たらないと判断し、このまま残すこととした。

但し、日本盲人会連合は2019年10月1日付で日本視覚障害者団体連合に法人名変更となる等、名称変更の動きもあるため、次回改正時に再検討とした。

②3.3.2.5：空気潜水用防水の同義語について

日本スキューバ協会では『スキューバダイビング』への統一を進めていること、また、改正

検討中の JIS B 7023 : 2014 での表記は『スクーバ』となっていることから『スクーバ』への変更について検討した。

各社 HP では『スキューバダイビング』と『スクーバダイビング』の両方の表記があるため、今回は見送りとし、JIS B 7023 : 2014 版の改正後に“空気潜水用防水”を“スクーバ潜水用防水”に変更し『スクーバ』に統一する方向で確認された。

③3.4.1.21 : ホームタイム／ローカルタイム入替機能

“ホームタイム”の定義を前回改正時に見送りとしているが、現在の記載内容に代わる適切な表現がないため、今回も見送りとした。

④3.4.2.1 : タイムプリセレクト装置

“タイムプリセレクト装置”から“潜水時間表示計”への表記変更については JIS B 7023 : 2014 版の改正後に実施することが確認された。

⑤3.4.4.5 : マルチアラームの定義

“複数のアラーム時刻や日付・曜日なども指定してアラーム時刻が設定できる機能”、“複数のアラーム時刻や時刻以外に日付・曜日なども指定してアラーム時刻が設定できる機能”等の意見もあったが、細かく規定すると他の用語にも同様な対応が必要となり、分かり難くなることが想定されるため、今回の改正では現状の表記から”時刻の”を削除し、“複数のアラーム設定ができる機能”とすることとした。

## **2022年4月21日 改正の要点**

主な改正点は以下の通りである。

1) 用語の追加

以下の用語を追加した。

- 3.3.1.14 日較差 (daily variation in daily rate)
- 3.4.1.22 GMT 機能 (対応英語はなしとした。)
- 3.4.2.8 スプリットセコンド (split second)
- 3.4.3.7 サン アンド ムーン (sun and moon)
- 3.4.5.5 ソヌリ (striking mechanism)
- 3.5.1.11 脱進機 (escapement)

2) 主用語の変更

以下の主用語を変更した。

3.2.21 盲人時計 ⇒ 視覚障害者対応時計

各社での使用状況により主用語を“盲人時計”から“視覚障害者対応時計”に変更。同義語として“盲人時計”、“触読時計”、“点字時計”を記載。“視覚障害者対応時計”の“障害”については、国、地方自治体等統一し

た見解は出ていないが、政府発行書類等については常用漢字である“害”を使った“障害”が使用されていることから、協会規約もそれに倣い“障害”と表記。

- 3.3.2.5 空気潜水用防水 ⇒ スクーバ潜水用防水  
JIS B 7023 に合わせ修正した。“空気潜水用防水”は同義語として記載。
- 3.4.2.1 タイムプリセレクト装置 ⇒ 潜水時間表示計  
JIS B 7023 に合わせ修正した。“タイムプリセレクト装置”は ISO6426-2 が未改定で記載されているため同義語として記載。
- 3.5.2.3 シースルーバック ⇒ シースルーケースバック  
対応英語の記載に合わせ変更。シースルーバックは同義語に移動した。

### 3) 同義語の追加／削除

以下の同義語を追加／削除した。

(同義語の追加)

- 3.2.15 太陽電池時計 追加同義語：solar-powered watch/clock  
注：用語対応英語の記載が、“solar-powered watch/clock 又は solar cell time keeping instrument “となっているが、ISO6426-2 の記載は ” solar cell timekeeping instrument “となっているためこの用語を対応英語とし、“solar-powered watch/clock “は同義語に移動した。
- 3.3.5.2 持続時間 (autonomy) 追加同義語：power reserve  
注：ISO6426-2 では、“autonomy”、“power reserve” 個別に定義されているが、“power reserve：duration for which a time-measuring instrument can operate on its own power reserves without further external power.( 時計装置がそれ以上の外部エネルギーを必要とせずに、それ自体の貯蔵エネルギーで動作することができる持続時間)”の定義のため、“power reserve”を同義語に追加した。  
(同義語追加に当たり、ISO6426-2 での定義を確認し追加した。)
- 3.4.3.2 オートカレンダー (auto calendar) 追加同義語：アニュアルカレンダー、  
年次カレンダー

(同義語の削除)

- 3.4.3.3 フルオートカレンダー (full auto calendar)  
削除同義語：パーペチュアルカレンダー  
注：同義語としては“パーペチュアルカレンダー”が使用されているため削除とした。

#### 4) 略語の追加

以下の略語を追加した。

##### 3.4.2.3 オートクロノグラフ 追加略語: オートクロノ、auto chronograph、auto chrono

注: 対応英語を ISO6426-2 に合わせ変更したため “auto chronograph”、“auto chrono” を略語に移動。“オートクロノ” は略語のため略語として記載とした。

#### 5) 定義の見直し

以下の用語定義を見直した。

##### 3.1.2 時計

定義欄に備考として『時計全般を表す英語として “timepiece”』を追記。

##### 3.3.2.3 日常生活用防水

ISO22810 は一般用防水時計規格ではなく防水ウォッチ規格のため記載修正。

##### 3.3.2.4 日常生活用強化防水

ISO22810 は一般用防水時計規格ではなく防水ウォッチ規格のため記載修正。

##### 3.3.2.7 潜水時計

JIS B 7023 に合わせ “空気潜水用防水” の記載を “スクーバ潜水用防水” に修正。

##### 3.4.5.1 報時

現在記載されている定義は “報時” 定義ではないため、ISO6426-4 の定義に合わせ修正。

##### 3.5.2.3 シースルーケースバック

用語は裏ぶた用語であるが、定義がケースについての記載であるため用語に合わせ定義内容を変更。

#### 6) 対応英語の変更／削除

以下の対応英語を変更／削除した。

(対応英語の変更)

##### 3.4.2.3 オートクロノグラフ

ISO6426-2 に合わせ “automatic chronograph” に変更。

(対応英語の削除)

##### 3.2.15 太陽電池時計

ISO6426-2 に合わせ “solar cell timekeeping instrument” のみとし、“solar-powered watch/clock” は削除し同義語へ移動。

##### 3.3.2.6 飽和潜水用防水

ISO6425 に合わせ “water resistant for mixed-gas diving” を削除。

### 3.5.2.3 シースルーケースバック

“see-thru case back” は使用していないため削除。

## 7) その他

①2.引用規格及び規約、関連規格の記載を以下の通り変更／追加した。

(最新名称の変更)

JIS B 7024 耐磁携帯時計-種類及び性能 ⇒ 耐磁携帯時計-種類、性能及び試験方法  
(規格、規約の記載追加)

ISO17514 蓄光塗料-試験方法及び要求事項

JCWA-T003 耐金属アレルギー携帯時計-種類及び性能

②以下の用語に引用規格を追加した。

(ISO 6426-2 追加)

3.3.4.1 耐衝撃性(shock resistance)

3.4.4.2 デイリーアラーム(daily alarm)

(ISO17514 追加)

3.5.2.13 蓄光(photoluminescence)

(ISO 22810 追加)

3.3.2.1 防水性(water resistance)

(JIS B 7001 追加)

3.1.7 電気時計(electric timekeeping instrument)

3.1.9 水晶時計(quartz timekeeping instrument)

3.2.1 アナログクォーツ時計(analogue quartz timekeeping instrument)

3.2.2 デジタルクォーツ時計(digital quartz timekeeping instrument)

(JIS B 7021 追加)

3.3.2.1 防水性(water resistance)

(JIS B 7024 追加)

3.1.13 機械落ち(movement fitting)

(JIS B 7027 追加)

3.1.6 機械時計(mechanical timekeeping instrument)

③以下の用語は当該引用規格に記載がないため引用規格を削除した。

(ISO6426-2 削除)

3.3.2.7 潜水用防水(water resistant for diving)

3.3.3.1 耐磁性(magnetic resistance)

3.5.2.14 目盛りリング(indicator ring)

(JIS B 7010 削除)

3.3.1.11 作動温度範囲(usage temperature range)

④以下の用語の記載場所を変更した。

耐振軸受(shock-absorber)

その他用語 3.4.6.2 ⇒ ムーブメント用語 3.5.1.10 へ移動。

3.4.6.2 項は空番とした。

## **2022年7月20日 改正の要点**

改正点は以下の通りである。

1) 用語の削除

3.4.3.7 サン アンド ムーン (sun and moon)

削除理由：国内でセイコーエプソンが14類（貴金属・時計関係）で商標登録、海外では別会社が商標登録しているため時計用語規約から削除した。

## **2024年10月17日 改正の要点**

改正点は以下の通りである。

1) 対応英語の変更。

3.2.3 コンビネーションクォーツ時計

ISO TC114/SC9 での確認結果も考慮し、“combination quartz timekeeping instrument”と “analogue and digital quartz timekeeping instrument” を併記することに変更。

2) 定義の見直し。

3.4.2.3 オートクロノグラフ

ISO TC114/SC9 での確認結果から、“タイマーとストップウォッチの両機能を持ち、タイマーが終了すると自動的に時間経過測定が作動する機能。”を “クロノグラフ機能と自動巻き装置を備えた時計” に修正。

3) 引用規格の追記・修正・記載の統一。

3.2.3 analogue and digital quartz timekeeping instrument(ISO) を削除。

3.2.16 (ISO) を削除。

3.3.3.2 ISO6426-2 を削除

3.4.2.1 ISO6425 を追記。

3.4.2.3 ISO6426-2 を追記。

3.4.6.6 (ISO) を削除。

3.5.1.8 (ISO の用語) を削除。

3.5.2.9 JIS B7010 を追加。

3.5.2.10 ISO6426-2 を削除。

4) 誤記修正。

3.1.14 “caliber” を “calibre” に修正。

3.4.5.5 “sonuri” を “sonnerie” に修正。

3.5.1.11 “テンプ” を “てんぷ” に修正。

3.5.2.14 “目盛りリング” を “目盛リング” に修正。

以上

用語索引 (五十音順)

【あ】

- 3.2.1 アナログクォーツ時計
- 3.4.4.1 アラーム

【う】

- 3.1.4 ウオッチ
- 3.1.17 うるう秒
- 3.2.4 腕時計

【え】

- 3.2.31 衛星電波時計
- 3.4.1.15 衛星電波
- 3.5.2.11 エスケープバルブ

【お】

- 3.4.3.2 オートカレンダー
- 3.4.2.3 オートクロノグラフ
- 3.4.6.5 オートリターン
- 3.2.6 置時計
- 3.4.2.2 音声タイマー
- 3.2.20 音声時計
- 3.3.1.10 温度補正

【か】

- 3.1.11 外装
- 3.5.2.4 回転ベゼル
- 3.4.6.15 過充電防止
- 3.1.12 型
- 3.2.7 掛時計
- 3.2.11 からくり時計
- 3.2.25 カラーセルウォッチ
- 3.4.3.1 カレンダー
- 3.4.3.5 カレンダー早修正
- 3.3.1.8 緩急

【き】

- 3.1.13 機械落ち
- 3.1.6 機械時計
- 3.4.1.7 基準位置
- 3.5.1.4 機能石
- 3.5.1.9 キャパシター
- 3.1.14 キャリバー
- 3.4.1.17 九州長波局
- 3.4.1.8 強制受信

【く】

- 3.4.5.4 グランドストライク
- 3.1.5 クロック
- 3.2.27 クロノグラフ
- 3.2.26 クロノメーター

【け】

- 3.1.1 計時装置
- 3.3.1.13 携帯精度
- 3.5.2.1 ケース
- 3.3.1.4 月差

【こ】

- 3.2.3 コンビネーションクォーツ時計
- 3.2.19 小秒針時計

【さ】

- 3.4.6.11 サウンドモニター
- 3.4.1.18 サマータイム ON/OFF 選択機能
- 3.3.1.11 作動温度範囲
- 3.2.5 提時計

【し】

- 3.5.2.3 シースルーケースバック
- 3.4.1.22 GMT 機能

3.2.21	視覚障害者対応時計	3.3.2.7	潜水用防水
3.3.3.2	磁気シールド	3.4.2.7	潜水ログデータ
3.4.1.3	時刻早修正	[そ]	
3.4.1.4	時差修正	3.4.6.13	操作確認音
3.3.1.1	指示差	3.4.5.5	ソヌリ
3.4.6.3	システムリセット		
3.3.5.2	持続時間	[た]	
3.4.1.9	自動受信	3.3.3.1	耐磁性
3.4.1.10	自動選局機能	3.5.2.10	耐磁板
3.4.6.1	自動巻	3.3.4.1	耐衝撃性
3.4.6.14	自動巻発電	3.5.1.10	耐振軸受
3.1.15	シャブロン	3.2.22	耐ニッケルアレルギーウォッチ
3.4.6.16	充電切れ予告機能	3.2.29	タイマー
3.4.6.19	充電時間	3.1.3	タイムカウンター
3.4.1.13	受信ON/OFF機能	3.2.23	耐メタルアレルギーウォッチ
3.4.1.12	受信結果表示機能	3.5.1.7	太陽電池
3.4.1.11	受信状態表示機能	3.2.15	太陽電池時計
3.3.1.12	使用温度範囲	3.2.18	多機能時計
3.2.19	小秒針時計	3.4.2.6	タキメーター
3.1.16	振動数	3.2.17	多針時計
		3.5.1.11	脱進機
[す]		[ち]	
3.4.6.9	スイーブ運針	3.5.2.13	蓄光
3.1.9	水晶時計		
3.3.2.5	スクーバ潜水用防水	[て]	
3.2.30	スケルトン時計	3.4.4.2	デイリーアラーム
3.4.6.10	ステップ運針	3.2.2	デジタルクォーツ時計
3.5.1.1	ステップモーター	3.4.1.6	デュアルタイム
3.2.28	ストップウォッチ	3.1.7	電気時計
3.4.4.4	スヌーズ	3.1.8	電子時計
3.4.2.8	スプリットセコンド	3.3.5.1	電池寿命
3.4.2.4	スプリットタイム	3.4.6.7	電池寿命切れ予告表示
3.4.6.20	スマートフォン探索機能	3.2.14	電波時計
[せ]		[と]	
3.2.16	世界時計		
3.4.2.1	潜水時間表示計		

3.2.24	トゥールビヨンウォッチ		
3.1.2	時計	[へ]	
3.2.9	トラベラークロック	3.4.6.12	ペースメーカー
3.3.1.7	ドリフト	3.3.1.5	平均月差
3.5.1.5	トリマー		
[な]		[ほ]	
3.5.2.16	中留	3.4.5.1	報時
		3.2.12	報時時計
[に]		3.4.5.2	報時鳴止め
3.5.1.8	二次電池	3.3.2.1	防水性
3.3.1.14	日較差	3.3.2.6	飽和潜水用防水
3.3.1.3	日差	3.2.13	ホールクロック
3.3.2.4	日常生活用強化防水	3.5.2.7	ボタン
3.3.2.3	日常生活用防水	3.3.1.2	歩度
		3.4.1.21	ホームタイム/ローカルタイム 入替機能
[ね]			
3.5.2.8	ねじロックボタン		
3.5.2.6	ねじロックりゅうず	[ま]	
3.3.1.6	年差	3.5.1.2	巻真
		3.5.1.3	巻真
[は]		3.4.4.5	マルチアラーム
3.2.10	鳩時計	3.4.1.19	マルチバンド
3.4.6.17	パワーセーブ機能		
3.4.1.20	針位置自動補正機能	[む]	
3.4.6.6	パワーリザーブインジケーター	3.1.10	ムーブメント
		3.4.3.4	ムーンフェイズ
[ひ]			
3.5.2.15	美錠		
3.3.2.2	非防水	[め]	
3.4.1.1	秒帰零	3.4.6.8	メロディー運針
3.4.1.14	標準電波	3.2.8	目覚時計
3.4.1.5	秒針規正	3.5.2.14	目盛リング
[ふ]			
3.4.1.16	福島長波局	[も]	
3.4.1.2	復針	3.4.6.4	モード
3.4.3.3	フルオートカレンダー	3.5.2.12	文字板

3.5.1.6 モニター用電池

[ら]

3.4.2.5 ラップタイム

3.4.6.18 ライト

[り]

3.4.3.6 リバースカレンダー

3.4.5.3 リピーター

3.5.2.5 りゅうず

3.5.2.9 リング

[ろ]

3.3.1.9 論理緩急

[わ]

3.4.4.3 ワンショットアラーム

3.5.2.2 ワンピースケース

同義語、〔派生語・略語〕  
(五十音順)

- [あ]
- 3.2.1 〔アナログ式〕
- 3.2.1 アナログ水晶時計
- 3.4.3.2 アニュアルカレンダー
- 3.4.6.11 アラームモニター
- [い]
- 3.4.6.3 イニシャルセット
- [う]
- 3.1.4 〔腕時計&提時計(懐中時計)〕
- [え]
- 3.4.6.16 エネルギー切れ予告機能
- 3.2.31 衛星電波修正時計
- [お]
- 3.4.2.3 オートクロノ
- 3.1.13 〔落径〕
- 3.4.6.3 オールリセット
- [か]
- 3.2.5 懐中時計
- 3.2.10 かつこう時計
- 3.4.3.1 〔カレンダー付〕
- 3.4.3.1 〔カレンダー時計〕
- 3.5.2.14 回転目盛リング
- [き]
- 3.1.6 〔機械式〕
- 3.1.6 機械式時計
- 3.2.1 〔機械表示式〕
- 3.4.1.13 機内モード
- 3.3.3.1 〔強化耐磁時計〕
- 3.4.1.17 九州局 (西局)
- 3.4.1.8 強制時刻修正
- [く]
- 3.4.4.3 クイックアラーム
- 3.3.2.5 〔空気潜水時計〕
- 3.3.2.5 空気潜水用防水
- 3.1.9 クォーツ時計
- [け]
- 3.1.4 携帯時計
- 3.4.3.4 月齢
- [こ]
- 3.3.2.6 混合ガス潜水用防水
- 3.5.1.9 コンデンサー
- 3.2.3 〔コンビネーション式〕
- 3.2.3 コンビネーション水晶時計
- 3.5.2.14 固定目盛リング
- [さ]
- 3.4.6.11 サウンドデモンストレーション
- 3.2.19 サブセコンド時計
- 3.4.1.18 サマータイム ON/OFF 機能
- [し]
- 3.5.2.3 シースルー
- 3.5.2.3 シースルーバック
- 3.1.3 時間計
- 3.4.1.10 自動選択機能
- 3.4.6.1 〔自動巻時計〕
- 3.4.6.14 〔自動巻発電時計〕
- 3.4.1.15 GPS 衛星電波 GPS 電波

3.2.31	GPS 衛星電波時計	3.2.17	多軸時計
3.5.1.8	充電式電池	[ち]	
3.4.6.6	充電量表示	3.5.2.13	蓄光塗料
3.4.6.16	充電警告機能	3.5.1.8	蓄電池
3.4.1.12	受信確認表示機能	[て]	
3.4.1.8	手動受信	3.4.1.9	定時受信
3.4.6.18	照明	3.4.1.9	定時自動受信
3.2.21	触読時計	3.2.2	〔デジタル式〕
[す]		3.2.2	デジタル水晶時計
3.4.6.9	スワイプセコンド	3.1.7	〔電気式〕
3.1.9	〔水晶式〕	3.1.8	〔電子式〕
3.2.30	スケルトン	3.2.21	点字時計
3.4.6.10	ステップセコンド	3.2.2	〔電子表示式〕
3.4.6.10	ステップ秒針	3.1.7	〔電池式〕
3.2.19	スモールセコンド時計	3.1.8	〔電池式〕
[せ]		3.2.14	電波修正時計
3.4.6.17	節電機能	3.1.6	〔てんぷ式〕
3.3.2.7	〔潜水時計〕	[と]	
3.1.6	〔ぜんまい式〕	3.3.1.11	動作温度範囲
[そ]		3.5.1.5	トリマーコンデンサー
3.5.1.7	ソーラーセル	[に]	
3.1.1	測時機	3.3.2.4	〔日常生活用強化防水時計〕
[た]		3.3.2.3	〔日常生活用防水時計〕
3.4.2.1	タイムプリセレクトディング装置	[ね]	
3.5.2.9	ダイヤルリング	3.5.2.6	ねじロック式りゅうず
3.2.23	耐金属アレルギーウォッチ	3.5.2.8	ねじロックプッシュボタン
3.3.3.1	〔耐磁時計〕	3.4.3.2	年次カレンダー
3.3.4.1	〔耐衝撃時計〕	[は]	
3.5.1.10	耐衝撃軸受	3.4.1.20	針自動補正機能、 針位置自動修正機能
3.3.2.7	〔ダイバーズウォッチ〕	3.4.6.6	バッテリーインジケーター
3.4.1.19	多局受信		
3.2.6	卓上時計		

3.4.6.6	バッテリー残量インジケータ	3.1.6	メカニカル時計
3.4.6.16	バッテリー充電警告機能		
3.4.3.3	パーペチュアルカレンダー	[も]	
3.4.6.17	パワーセービング機能	3.2.21	盲人時計
[ひ]		[ら]	
3.2.15	光発電時計	3.4.2.8	ラトラパンテ
3.5.1.4	[非機能石]		
3.3.2.2	[非防水時計]	[り]	
3.4.1.5	秒針停止	3.2.9	旅行時計
[ふ]		[れ]	
3.2.3	[複合表示式]	3.4.3.6	レトログロードカレンダー
3.2.17	[複雑時計]	3.4.6.9	連続運針
3.2.18	[複雑時計]	3.4.6.9	連続秒針
3.4.1.16	福島局（東局）		
3.2.19	副秒針時計	[わ]	
3.5.2.7	プッシュボタン	3.2.16	ワールドタイムウォッチ／クロック
		3.4.4.3	ワンタッチアラーム
[ほ]			
3.3.2.1	[防水時計]		
3.3.2.6	[飽和潜水時計]		
3.2.5	ポケットウォッチ		
[ま]			
3.2.17	マルチハンズ		
3.2.18	マルチファンクション		
3.4.1.19	マルチ受信		
3.4.1.19	マルチバンド受信		
3.4.3.3	万年カレンダー		
[み]			
3.5.2.9	見返しリング		
[め]			
3.1.6	メカ時計		

用語・対応英語、同義語[派生語・略語]  
索引（アルファベット順）

[A]

- 3.4.6.3 [AC]  
3.4.5.1 acoustic information  
3.2.12 acoustic information clock  
3.4.4.1 alarm  
3.2.8 alarm clock  
3.2.3 analogue and digital quartz  
timekeeping instrument  
3.2.1 analogue quartz  
timekeeping instrument  
3.3.1.6 annual rate  
3.2.23 anti-metal allergy watch  
3.2.22 anti-nickel allergy watch  
3.2.1 [AQ]  
3.4.3.2 auto calendar  
3.4.2.3 automatic chronograph  
3.4.2.3 [auto chronograph]  
3.4.2.3 [auto chrono]  
3.4.6.5 auto return  
3.4.6.1 automatic  
3.4.6.14 automatic power generating system  
3.4.1.9 automatic reception  
3.4.1.10 automatic tuning function  
3.4.1.10 [auto tuning]  
3.3.5.2 autonomy

[B]

- 3.4.6.7 battery life indicator  
3.4.6.13 beep sound  
3.4.6.7 [BLD]  
3.2.21 braille watch/clock  
3.5.2.15 buckle

[C]

- 3.4.3.1 calendar  
3.1.14 calibre  
3.5.1.9 capacitor  
3.2.11 carillon clock  
3.2.25 carrousel watch  
3.5.2.1 case  
3.1.11 casing  
3.1.15 chablon  
3.4.6.19 charging time  
3.2.27 chronograph  
3.2.26 chronometer  
3.5.2.16 clasp  
3.1.5 clock  
3.2.3 combination quartz timekeeping  
instrument  
3.2.3 [CQ]  
3.5.2.5 crown  
3.2.10 cuckoo clock

[D]

- 3.4.4.2 daily alarm  
3.3.1.3 daily rate  
3.3.1.14 daily variation in daily rate  
3.4.1.18 daylight saving time ON/OFF  
selection function  
3.2.6 desk clock  
3.5.2.12 dial  
3.2.2 digital quartz  
timekeeping instrument  
3.4.2.1 diving time indicator  
3.2.2 [DQ]  
3.3.1.7 drift  
3.4.1.18 DST ON/OFF  
3.4.1.6 dual time

[E]		[L]	
3.1.7	electric timekeeping instrument	3.4.2.5	lap-time counter
3.1.8	electronic timekeeping instrument	3.1.17	leap second
3.4.6.16	energy depletion forewarning function	3.4.6.18	light
3.4.6.17	energy save function	3.1.12	ligne
		3.1.12	line
		3.4.2.7	log data
3.3.2.4	enhanced water resistant for daily use	3.3.1.9	logical regulation
3.5.1.11	escapement	[M]	
3.5.2.11	escape valve	3.3.3.1	magnetic resistance
		3.5.2.10	magnetic shield plate
[F]		3.3.3.2	magnetic shield
3.1.16	frequency	3.4.1.8	manual reception
3.4.3.3	full auto calendar	3.2.11	marionette clock
3.4.1.16	Fukushima low frequency office	3.1.6	mechanical timekeeping instrument
3.4.1.16	Fukushima signal	3.2.23	metal allergy resistant watch
		3.4.6.4	mode
[G]		3.5.1.6	monitor battery
3.4.5.4	grand strike	3.3.1.4	monthly rate
[H]		3.4.3.4	moon phase
3.2.13	hall clock	3.1.10	movement
3.4.1.2	hands reset to original position	3.1.13	movement fitting
		3.4.4.5	multi alarm
[I]		3.4.1.19	multiband
3.5.2.14	indicator ring	3.2.18	multifunction timekeeping instrument
[J]		3.2.17	multi-hands timekeeping instrument
3.5.1.4	jewel		
[K]		[N]	
3.4.1.17	Kyushu low frequency office	3.2.22	nickel allergy resistant watch
3.4.1.17	Kyushu signal	3.3.2.2	non water resistant
		3.3.1.13	normal usage accuracy

		3.4.6.8	rhythmical motion
[O]		3.5.2.9	ring
3.5.2.2	one-piece case	3.5.2.4	rotating bezel
3.4.4.3	one shot alarm		
3.3.1.11	operational temperature range	[S]	
3.4.6.15	overcharge prevention function	3.2.31	satellite radio-controlled watch/clock
[P]		3.2.31	satellite synchronized (satellite-sync) watch/clock
3.4.6.12	pace maker		
3.5.2.13	photoluminescence		
3.2.5	pocket watch	3.5.2.6	screw down crown
3.3.5.2	power reserve	3.5.2.8	screw down push button
3.4.6.6	power reserve indicator	3.5.1.8	secondary battery
3.4.6.17	power save function	3.4.1.5	seconds hand stop
3.3.5.1	practical battery life	3.4.1.1	seconds zero reset
3.5.2.7	push button	3.5.2.3	see-through case back
		3.5.2.3	[see-thru case back]
[Q]		3.5.1.3	setting stem
3.1.9	quartz timekeeping instrument	3.5.1.10	shock-absorber
3.4.3.5	quick calendar correction	3.3.4.1	shock resistance
3.4.1.4	quick correction function of time difference	3.3.4.1	[shock resistant watch]
3.4.1.3	quick correction of time	3.2.30	skeleton watch/clock
		3.4.4.4	snooze
		3.5.1.7	solar cell
[R]		3.2.15	solar cell timekeeping instrument
3.2.14	radio-controlled watch/clock	3.2.15	solar-powered watch/clock
3.3.1.2	rate	3.4.5.5	sonnerie
3.4.1.11	reception level display function	3.4.6.11	sound monitor
3.4.1.13	reception ON/OFF function	3.4.2.2	sound timer
3.4.1.12	reception result confirmation function	3.4.2.8	split second
		3.4.2.4	split-time counter
3.5.1.8	rechargeable battery	3.4.1.14	standard time electric wave
3.4.1.7	reference position	3.4.1.14	standard radio wave
3.3.1.8	regulation	3.4.1.14	standard-time and frequency-signal emission
3.4.5.3	repeater		
3.4.3.6	reverse calendar	3.3.1.1	state

3.4.6.10	step motion second	3.3.2.3	water resistant for daily use
3.4.6.10	stepping motion second	3.3.2.7	water resistant for diving
3.5.1.1	stepping motor	3.3.2.6	water resistant for saturation diving
3.2.28	stop watch	3.3.2.5	water resistant for scuba diving
3.4.5.5	striking mechanism	3.5.1.2	winding stem
3.4.5.2	striking shut off	3.2.16	world timekeeping instrument
3.4.6.9	sweep motion second		
3.4.6.9	sweeping motion second		
3.4.6.3	system reset		

[T]

3.2.6	table clock
3.4.2.6	tachymeter
3.2.20	talking watch/clock
3.3.1.9	theoretical regulation
3.3.1.10	thermal compensation
3.1.3	time counter
3.1.2	timekeeping instrument
3.2.19	timekeeping instrument with small seconds hands
3.1.1	time-measuring instrument
3.4.2.1	[time preselecting device]
3.2.29	timer
3.2.24	tourbillon watch
3.2.9	travel alarm clock
3.2.9	traveler's clock
3.5.1.5	trimmer

[U]

3.3.1.12	usage temperature range
----------	-------------------------

[W]

3.2.7	wall clock
3.1.4	watch
3.2.4	wrist watch
3.3.2.1	water resistance